

本校では、「ふるさとを愛し、ふるさとに貢献する生徒」の育成を目標に、『人道プロジェクト』『福祉プロジェクト』『ふるさとプロジェクト』の3つのプロジェクトに取り組んでいます。

1. 人道プロジェクト

宿泊研修の折に、杉原千畝氏に関わる施設や人から学ぶ『人道研修』を位置づけ、段階的に学習を進めています。1年生は「杉原千畝記念館」を、2年生は「人道の港 敦賀ムゼウム」を訪問します。3年生は「早稲田大学」を訪問して杉原千畝氏を研究している大学生と交流したり、『杉原美智氏』をお招きして講演会を行ったりしています。生徒たちは、前年度までの学習を生かしながら学びを深め、3年生が研修を終えた後には、杉原千畝氏が生まれた地にある学校の使命として、杉原氏の功績や生き方、命の大切さや平和の尊さを積極的に発信し、平和で安全・安心な社会の実現に貢献したいと考えるようになりました。



2. 福祉プロジェクト

本校のある地区内には、高齢者福祉施設が2つ、障がい者福祉施設が1つあります。毎年、それらの施設に訪問し、高齢者や障がい者の方たちとふれ合ったり、施設職員の方の話や姿から学んだりする機会を設けています。また、宿泊研修の折には、町内高齢者福祉施設や福井県にある障がい者福祉施設を訪問しています。八百津町の福祉政策を学んだり、他県の福祉政策との相違点を学んだりして、その後の福祉施設訪問に生かすとともに、よりよい福祉の在り方について考えます。そして、体験を通して学んだことや次回の訪問で生かしたいことなどを全校で話し合い、一人一人が福祉について考え、共生社会の実現に向けて主体的に関ろうとする心と態度の育成を図っています。



3. ふるさとプロジェクト

ふるさとプロジェクトは、地域の方との交流を通して、ふるさとを愛し、ふるさとに貢献する人材を育成することを目的として行っています。

いつもお世話になっている地域の方とふれ合いたいという思いから、『東部ふれあいデー』を企画し、合唱や駅伝で交流を行っています。特に駅伝では、生徒が事前に応援グッズを配りながら一軒一軒を訪問し、当日にはその思いに地域住民の方が応え、沿道で声援を送ってくださいました。そうした地域の温かさに、生徒たちはふるさとへの愛着を一層深めています。



また、本校最大の行事である体育祭や合唱祭には地域の方を招待し、交流を図っています。その際大切にしていることは、心からのおもてなしをすることです。どちらの行事も受付を生徒全員で行い、来場者一人一人に声をかけています。

3つの地区からなる校区では、毎年たくさんの地域行事が行われます。地域の環境美化活動や体育行事・文化行事に、生徒たちは積極的に参加し、盛り上げています。そうした姿は地域の方たちから大変感謝され、生徒たちも自己有用感を味わったり、地域の方との交流を楽しんだりしており、地域に貢献したいという強い思いにつながっています。



4. 将来にわたってふるさとに貢献する

生徒たちは、社会やふるさとの在り方について考えることを通して、広い視野で物事を考える力を高めることができました。また、ふるさとを大切に思う気持ちが高まり、ふるさとのために自分たちができることを積極的に行っていくとする心と態度が育ってきました。つけてきた力や育った心と態度を彼らが今後も大切にしていき、将来にわたってふるさとに貢献していくことを期待しています。